

info DRIVE ジャマガジン

jama

Japan Automobile Manufacturers Association

日本自動車工業会 広報誌

JAMA vol.56
2022
[April] 4 月号



自動車産業の550万人のために新体制の自工会が本格始動 正副会長を支援するサポートチームが発足

自動車産業のサイバーセキュリティ対策

どう守る「サプライチェーン攻撃」

調査では企業規模によるバラつきが浮き彫りに

令和4年 春の全国交通安全運動

jama
Japan Automobile Manufacturers Association

発行日 2022年3月31日

発行人 一般社団法人 日本自動車工業会 総合政策領域

発行所 一般社団法人 日本自動車工業会

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車会館

総合政策領域 kouho2@mta.jama.or.jp

©禁断転載：一般社団法人 日本自動車工業会



1



2



3

1 2 正副会長を支援するサポートチームが発足

3 コロナで変わる？クルマの使われ方⑤

●JAMAGAZINEは自工会WEBサイトからもご覧いただけます


www.jama.or.jp/lib/jamagazine/index.html

2022年4月主要自動車関連イベント ——— 01

自動車産業の550万人のために新体制の自工会が本格始動 ——— 02

正副会長を支援する
サポートチームが発足

令和4年「春の全国交通安全運動」 ——— 07

4月6日(水)～15日(金)

自動車産業のサイバーセキュリティ対策 ——— 08

どう守る「サプライチェーン攻撃」

調査では企業規模によるバラつきが浮き彫りに

CEV補助金 ——— 10

夏↔冬 タイヤ交換後の ——— 12

大型車の車輪脱落事故に注意!

コロナで変わる？クルマの使われ方⑤ ——— 13

注目集まる電動車の価値

記者の窓 ——— 16

「運転がうまいね」 日本経済新聞 阿部 晃太郎

4月からJAMAGAZINEの ——— 17

発行形態が変わります

編 集 後 記

2022年、モータースポーツ開幕。

昨年夏から今年の冬にかけて、「東京オリンピック、パラリンピック」、「北京オリンピック、パラリンピック」という大きなイベントが開催されましたが、いよいよ「モータースポーツ」も各カテゴリー開幕しています。既にMoto GPがカタールで開幕し、F1もバーレーンで開幕。国内では、スーパー耐久が鈴鹿から始まりました。強豪チームをはじめ、新たなチームや新たな選手、これから秋にかけてチャンピオン争いが繰り広げられます。「モータースポーツ」というと、一見、メーカーの威信をかけた熾烈な戦い、をイメージされる方が多いかと思えます。確かにそのような側面はあるものの、一方で「心が和む」こともあります。

既にご存じの方も多いかもしれませんが、例えば、昨年でF1参戦終了が決まっていたHondaは、F1最終戦の開催日の朝刊に、「ありがとう●●。すべてのライバルに感謝します。

じゃ、最後、行ってきます。」と大きな広告を掲載しました。●

●には、F1に参戦したことのある国内外メーカー名、フェラーリ、マクラーレン、メルセデス等入っていました。もちろんそのうちの1つには「トヨタ」への感謝の言葉もありました。更に、もう少し遡りますと、世界耐久選手権(WEC)に出場していた「トヨタ」は、撤退が決まった「アウディ(2016年)」「ボルシェ(2017年)」に対しても、感謝の思いを都度表明してきました。メーカーの枠を越えて、お互いをライバルとして尊敬し、感謝し合い、エールを贈る姿があり、純粋に熱いものを感じたファンは多かったのではないのでしょうか。

夏と冬のオリンピックのある種目では、素晴らしい演技をした選手の周りに、国籍を問わず祝福しに集まる選手の輪がありました。「モータースポーツ」にも、共通する何かがありそうです。今年も「モータースポーツ」、始まります!

H・F

2022年4月主要自動車関連イベント

 は四輪車レース  は二輪車レース

国内イベント

日時	場所	名称
4月 2-3日	北海道 アクセスサッポロ	北海道キャンピングカーフェスティバル2022
15-17日	千葉県 幕張メッセ	オートモビルカウンスル2022

海外イベント

日時	場所	名称
4月 21-30日	中国 北京	北京モーターショー2022

国内モータースポーツ

日時	場所	名称
4月 1-3日	佐賀県 唐津市、伊万里市周辺	 全日本ラリー選手権 第2戦
3日	栃木県 モビリティリゾートもてぎ	 全日本ロードレース選手権 第1戦
3日	愛知県 キョウセイドライバード	 全日本トライアル選手権 第1戦
9日	静岡県 富士スピードウェイ	 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦
9日	熊本県 HSR九州	 全日本モトクロス選手権 第1戦
10日	静岡県 富士スピードウェイ	 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦
10日	福岡県 スピードパーク恋の浦	 全日本ダートトライアル選手権 第2戦
16-17日	宮城県 スポーツランドSUGO	 全日本エンデュロ選手権 第2戦
17日	岡山県 岡山国際サーキット	 SUPER GT Round. 1
17日	福島県 エビスサーキット	 全日本ジムカーナ選手権 第2戦
17日	千葉県 茂原ツインサーキット	 全日本スーパーモト選手権 第1戦
24日	三重県 鈴鹿サーキット	 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第3戦
24日	三重県 鈴鹿サーキット	 全日本ロードレース選手権 第2戦
24日	栃木県 丸和オートランド	 全日本ダートトライアル選手権 第3戦
24日	熊本県 矢谷渓谷トライアル場	 全日本トライアル選手権 第2戦
24日	静岡県 富士スピードウェイ	 D1グランプリ 第1戦

海外モータースポーツ

日時	場所	名称
4月 3日	アルゼンチン アウトロー・モテルマス・デリオ・オンド	 Moto GP 第3戦 アルゼンチンGP
9日	イタリア ローマ	 フォーミュラE 第4戦
10日	オーストラリア アルバートパークサーキット	 F1世界選手権 第3戦 オーストラリアGP
10日	イタリア ローマ	 フォーミュラE 第5戦
10日	アメリカ ロングビーチ市街地コース	 インディカーシリーズ 第3戦
10日	アメリカ サーキット・オブ・ジ・アメリカズ	 Moto GP 第4戦 アメリカGP
10日	スペイン モーターランド・アラゴン	 スーパーバイク世界選手権(SBK) 第1戦
16-17日	フランス ブガッティ・サーキット	 世界耐久選手権(EWC) 第1戦
21-24日	クロアチア	 世界ラリー選手権(WRC)第3戦 ラリー・クロアチア
24日	イタリア イモラサーキット	 F1世界選手権 第4戦 エミリア・ロマーニャGP
24日	ポルトガル アルガルベ・インターナショナル・サーキット	 Moto GP 第5戦 アメリカGP
24日	オランダ TTサーキット・アッセン	 スーパーバイク世界選手権(SBK) 第2戦
24-30日	カザフスタン	 世界ラリーレイド選手権(WRC)第3戦 カザフスタンラリー
30日	モナコ モンテカルロ	 フォーミュラE 第6戦

※新型コロナウイルスの感染状況により変更や中止となる場合があります



自動車産業の550万人のために
新体制の自工会が本格始動

正副会長を支援する サポートチームが発足

自工会は2022年5月より新体制とすることを発表しました。新たに副会長に3名が就任し、乗用車から大型車、軽自動車、二輪車と全方位で自動車産業が抱えるさまざまな課題に取り組みます。これに先立ち各社トップが議論を深める場として「正副会長会議」をスタート。正副会長の連携を密に、一枚岩となって活動を加速させていきます。同時に最前線で活躍する現役社員で構成する「正副会長サポートチーム」も立ち上げました。新体制の自工会では、車種の垣根を越えて、日本の基幹産業としての役割を果たすべく、幅広く柔軟な視点で自動車産業550万人のあるべき未来を模索していきます。



▲ ダート走行でクルマの楽しさを再確認。メンバーの絆も深まった

車種の垣根を越える新体制

「100年に一度の大変革期」といわれる自動車産業では、カーボンニュートラルやCASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）への対応など、取り巻く環境が刻々と変化しています。自工会ではこれらの山積した課題に迅速に対応するためには、従来以上に車種の垣根を越え、同じベクトルで議論を深めていく

ことが不可欠と考えており、2022年5月から正副会長を中心とした新体制を発足します。

新体制では、会長の豊田章男（トヨタ自動車代表取締役社長）の任期を2年間延長するとともに、新たな副会長として日産自動車代表取締役社長兼最高経営責任者の内田誠、スズキ代表取締役社長

新体制では、会長の豊田章男（トヨタ自動車代表取締役社長）の任期を2年間延長するとともに、新たな副会長として日産自動車代表取締役社長兼最高経営責任者の内田誠、スズキ代表取締役社長

の鈴木俊宏が就任します。2020年10月から副会長を務める日高祥博（ヤマハ発動機代表取締役社長執行役員）、片山正則（いすゞ自動車代表取締役社長）、2022年1月就任の本田技研工業取締役代表執行役社長の三部敏宏と合流することで、乗用車、大型車、軽自動車、二輪車とそれぞれの分野のエキスパートを正副会長に配置し、自動車産業が抱える課題に取り組む体制を整えました。

正副会長会議とサポートチームが発足



▲ 若手提案の起用を期待する内田副会長

2022年2月には第二回目となる会議も実施しました。

新体制は2022年5月からですが、すでに動き始めています。これは待ったなしの環境変化の中において、スピード感を持った取り組みが重要となるためです。具体的には、正副会長の意思疎通や課題の共有などを目的とした「正副会長会議」を2021年12月にスタート。

一方で、正副会長は、多忙な自動車メーカーのトップという立場で、自工会として活動する時間に限りがあるのも事実です。その中で次期副会長の内田は「この待ったなしの状況下で議論を加速させ、車種の垣根を越えた活動をより具体的にしていくためには、若手の起用でフレッシュな意見を入れる必要がある」と指摘

しました。これを受けて自工会では、正副会長を支援する「サポートチーム」という新たな組織を立ち上げました。サポートチームは、正副会長社の代表として第一線で活躍する中堅社員8名で構成しています。自工会の2022年度の5つの重点テーマ①成長・雇用・分配への取り組み②税制改正③カーボンニュートラル④CASEによるモビリティの進化⑤自動車業界のファンづくりを軸として、自動車産業550万人の困り事（事実）を把握し、正副会長の判断に繋げていくことが狙いです。



第1回勉強会を東海地区で開催

スピード感のある取り組みを実現すべく立ち上げたサポーターチームは、早速動き始めています。第一弾の活動として、東海エリアに拠点を置く

トヨタ・ヤマハ・スズキの3社主催の勉強会を開催しました。今回の目的は、まずはクルマやバイクを今まで以上に好きになり、ユーザーの立場で理解す

ることです。また、日本の自動車産業の競争力を高めるために、企業や自分の立場を超えて活動できる基盤を作ること

も重要なテーマです。
このためダート走行の同乗体験を行いました。会長の豊田自らハンドルを握り、ラリー車

本音で語り合う座談会

▲ ダート走行会に参加した正副会長の3人



▲ 会長の豊田自らハンドルを握り、ラリー車両を体感

勉強会では会長の豊田、副会長の日高、次期副会長の鈴木を交えた座談会を開催しました。活発な意見交換が行われたほか、サポーターチームメンバーからも正副会長へ次々と質問が上がりました。

サポーターチームへの期待について問われた会長の豊田は「それぞれの出身の会社の社長の代わりになつて、自分の目や耳、足で、現在の自動車産業のあり方、課題、問題点をどんどん吸収して勉強していただきたい」と期待を込めます。同時に「サポーターチームという、何かしらのアウトプットを出さないといけない、という風になりがち。でも、ソリューションというよりは、問題発見



正副会長が本音で語り合いアットホームな雰囲気



や課題発見してほしい」と説明します。

また、副会長の日高は、「まずはユーザー目線で考えていただきたい。いくら自工会として一つになってもメーカーの集まりだと、どうしてもメーカー目線になりがちなので、一人のドライバーやライダーの目線で、実際に乗って感じたこと、CASEで変わることを自分なりにイメージしてもらえんか」と正副会長とは異なる立場での活躍に期待を寄せます。次期副会長の鈴木も「将来の姿をユーザー目線で道筋を描くという変わっていくか、というモビリティが必要なのか、というところを対話していただければあ

りがたい」とユーザー目線での議論の重要性を訴えます。

正副会長お互いの印象とは？という質問では、会長の豊田が副会長の日高に対して「ヤマハという会社とはこれまでも長い縁があったが、最近特に泥臭さや体温といった人間味を感じるようになった」とコメント。次期副会長の鈴木に対しては「スズキさんは世間からライバルというイメージを作られたけど、実は昔からメチャクチャ親しい。軽という本当に大切な国民車を発展させて守るという役目を貫つたと思ってる」と述べました。

副会長の日高は会長の豊田に「きちんと発言されて、スツと腑に落ちる。そうだよな」と共感できる」といい、次期副会長の鈴木に対しては「嘘が言えない本当に誠実な方。迷ったら相談させてもらい、鈴木さんが協力しないと云ったら、それはやめる」と全幅の信頼を寄せていることを明かしました。

チームづくりに関する質問では、副会長の日高が「人間は

十人十色で一人ひとり考え方が違う。そこは適材適所で、その人は何がしたいか。何が好きで、好きなところで活躍してもらおうのが良いと思う」とアドバイスしました。

このほかにも「クルマの所有と使用」「ファンづくり」といったテーマが上がり、限られた時間の中で、世代や立場を超えた議論が交わされました。

座談会を終えたサポートチームのメンバーからは「豊田会長がサポートチームは問題解決やソリューションではなく、事実を把握する活動してほしいと述べていたのが印象的だった」、「メーカーの視点ではなくお客さまや外部からの目線で、どういうことが起きているのか。第三者目線で分析して提案することを期待されていると感じた」、「ユーザー目線での率直な疑問や感じたことを伝えてほしいというメッセージと受け取った」と感想を述べます。同時に今後の活動の方向性について「自工会の重点テーマに沿って、サポートチームの活動を議論するところからスタートポイントになる」

▼ サポートチームからは次々と質問が上がった



と説明します。

正副会長からはファンづくりに関する意見も多数上がり、「正副会長の熱い気持ちを感じた。クルマをもっと好きになつてほしいというのが貫いた軸であり、ファンづくりが最終的には競争力につながるのではないか」と考察します。

また、サポートチームメンバーは「日本の自動車工業の代表として課題意識を持ち寄る場なのだと感じた」といい、座談会はサポートチームの役割や期待の高さを改めて認識する機会となったようです。



企業理念を知るために



勉強会では各社の施設も見学しました。サポートチームの活動には、自動車メーカーの歴史や考え方などを学ぶことも重要となるためです。初日と2日目は、トヨタ産業技術記念館やトヨタ博物館、トヨタDNA継承館を見学しまし

た。メンバーは「自分以外の誰かのために」という創業の原点を学んだ。説明員の方が自分の言葉で説明していて、気持ちこもっていた、熱い思いを感じた」と感想を述べます。

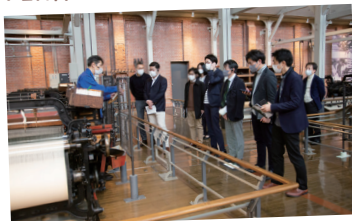
3日目は場所を変え、ヤマハコミュニケーションプラザとスズキ歴史館の見学を行いました。ヤマハコミュニケーションプラザは、「感動創造企業」というスローガンを掲げるヤマハ発動機を体現した施設で、二輪車をはじめ、電動アシスト自転車、マリナー製品、四輪バギー、産業用ロボットなど、同社ならではの幅広い製品を展示しています。また、「取引先などみんなで見て触れて、仕事ができるスペースが一体と

なるのは興味深い」(サポートチームメンバー)と関心を寄せます。

スズキ歴史館は、同社の根幹ともいえる「お客さまの立場になったものづくり」を体験できる施設で、創業時代から現在までの歴史を詳しく学ぶことができます。サポートチームが見学した当日は、次期副会長の鈴木修相談役もサプライズで駆け付けました。次期副会長の鈴木は「会

社の代表ではなく、日本の自動車産業のために動いてほしい。お客さまのために、より良い日本のために二人ひとりの対等な人間として対話してほしい」と激励しました。鈴木相談役も訪れたメンバーと対話し、サポートメンバーからは「鈴木相談役は自工会のことを気にかけており、今回足を運んで頂いた。『やamaiか』の精神や、机上の空論ではなく、まずは行動してみる大切さを教えていただいた」と、貴重な機会を通じて得たアドバイスに感謝の声が聞かれました。

1-2日目



トヨタの施設では創業の歴史や考え方などを学んだ



3日目



事業領域が広いヤマハらしく幅広い製品が並ぶ



3日目



サプライズで鈴木修相談役が激励に



スズキ歴史館は、同社の根幹ともいえる「お客さまの立場になったものづくり」を体験できる施設で、創業時代から現在までの歴史を詳しく学ぶことができます。サポートチームが見学した当日は、次期副会長の鈴木修相談役もサプライズで駆け付けました。次期副会長の鈴木は「会

社の代表ではなく、日本の自動車産業のために動いてほしい。お客さまのために、より良い日本のために二人ひとりの対等な人間として対話してほしい」と激励しました。鈴木相談役も訪れたメンバーと対話し、サポートメンバーからは「鈴木相談役は自工会のことを気にかけており、今回足を運んで頂いた。『やamaiか』の精神や、机上の空論ではなく、まずは行動してみる大切さを教えていただいた」と、貴重な機会を通じて得たアドバイスに感謝の声が聞かれました。

今後サポートチームは、関東エリアでも第2弾の勉強会を開催する予定で、今回の3社以外のメーカーの歴史や考え方も学んでいく考えです。さらに正副会長とサポートチームがリアルタイムでコミュニケーションを図れるツールも導入します。これによりスピード感を持ちながら、より密な関係を構築し、課題解決に向けた取り組みを加速させていきます。自動車産業が一枚岩で難局を乗り越えるための新たなチャレンジに期待が高まります。

令和4年

4月6日(水)~15日(金)

春の全国交通安全運動

「春の全国交通安全運動」が4月6日からスタートします。自工会もこの活動に協賛しています。
交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を通して交通事故防止を目指しましょう。
この春の重点項目は「子供を始めとする歩行者の安全確保」「歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上」「自転車の交通ルール遵守の徹底と安全確保」の3項目です。

みんなで守ろう交通ルール。笑顔でつくる交通安全

子供を始めとする歩行者の安全確保

歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上

自転車の交通ルール遵守の徹底と安全確保

4月10日(日)は「交通事故死ゼロを目指す日」です
春の全国交通安全運動
令和4年4月6日(水)~15日(金)

内閣府

子供を始めとする歩行者の安全確保

歩行者も

交通ルールをまもりましょう！

入園・入学シーズンを迎え、幼児・児童の歩行中の交通事故が増えています。横断歩道では信号を守り、青色の時でも左右をよく見て車が来ていないか、しっかり停車しているか確かめてからわたりましょう。

「ゾーン30プラス」で安全・安心な通行空間をつくりましょう！

最高速度30キロの区域規制とスムーズ横断歩道等を適切に組み合わせることで、

生活道路での人優先の通行空間づくりを目指しています。日ごろから地域や家庭で通学路等の安全を確認しましょう。

歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上

安全運転意識の向上

横断歩道は歩行者優先です！

運転者には横断歩道手前での減速義務や停止義務があります。「思いやり・ゆずり合い」の気持ちをもって運転しましょう。

飲酒運転を

絶対にしない！させない！

アルコールは少量の摂取でも、情報処理能力、注意力、判断力などが低下し交通事故の危険性を高めます。絶対にやめましょう！

自転車安全利用五則

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 交通ルールを守る
 - ・ 飲酒運転
 - ・ 二人乗り
 - ・ 並進の禁止
 - ・ 夜間はライトを点灯
 - ・ 交差点での信号遵守と一時停止
 - ・ 安全確認
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用



安全運転サポートカー（サポカー）を推奨します！

衝突の被害を軽減してくれるブレーキやペダルの踏み間違いによる急発進を抑制してくれる装置など、先進安全技術で運転者の安全運転を支援してくれるサポカーを推奨します。

自転車の交通ルール遵守の徹底と安全確保

自転車はクルマの仲間です！

自転車は「軽車両」というクルマの仲間です。交通ルールを守り、安全運転を心がけましょう。



どう守る「サプライチェーン攻撃」 調査では企業規模による バラつきが浮き彫りに

近年、潜在的なリスクが高まっているといわれるサイバー攻撃。その中でも被害が増えている攻撃の一つが、セキュリティが脆弱な企業を基点に大手企業などの情報窃取や妨害を狙う「サプライチェーン攻撃」です。特に約3万点の部品からなる自動車製造業界は、サプライチェーンの裾野が広く、実際にここ数年でも複数の被害が確認されています。こうしたなか、日本自動車工業会と日本自動車部品工業会では2021年度、会員各社のサイバー攻撃に関する対策状況を調査し、このたび調査結果を公表しました。回答企業には、今回の集計結果と自社の状況を照らし合わせ、サイバーセキュリティ対策の強化に活用してもらいたいと考えています。

▼ サイバー攻撃の被害は年々増加している

2300社を対象に実態調査

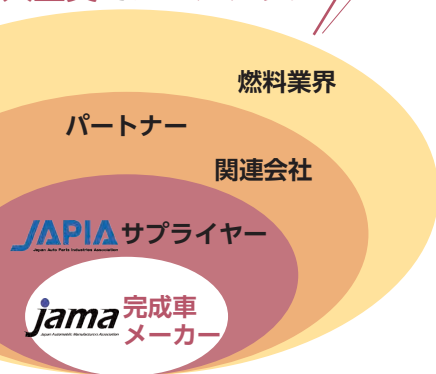
今回の調査は、自工会と部工会が2020年に策定した「自動車産業サイバーセキュリティガイドライン」をもとにしたチェックシートを展開し、各社の回答状況を集計しました。ガイドラインは、コーポレート系情報ネットワークなどの「エンタープライズ」領域を対象に、規模の小さい

企業も含めて優先して実施すべき必要最低限の50項目で構成。1項目2点の100点満点で対策状況をポイント化するチェックシートを昨年10月下旬までに評価結果を提出した企業を対象に集計しました。

今回、2300社の会員企業に
対策状況を提出してもらいまし

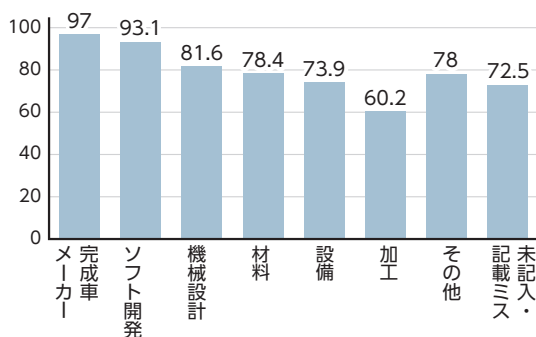


クルマを走らせる
人全員でレベルアップ



■ 会社分類別の平均点

※満点は100点



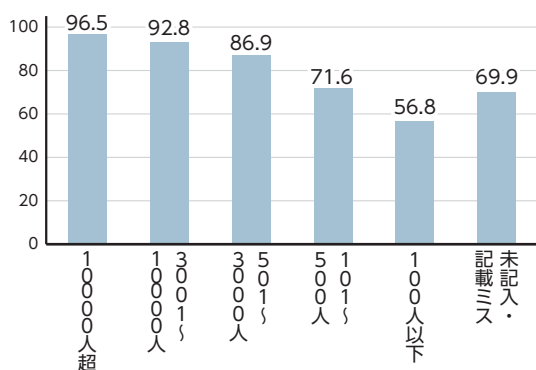
■ 今後の活動方針【中長期】

セキュリティのレベルアップを
550万人へ展開



■ 従業員数別の平均点

※満点は100点



社会的にサイバー攻撃の被害が広がるなかで、企業の意識は高まっています。今回、中小規模の会社を含む2300社もの企業から回答が集まったのも意識の高まりを表しているのではないでしょう。しかしながら、それぞれの会社の状況によっては対策を徹底することが現実的に難しいケースもあります。そうした企業への対応は自工会としても重要課題と認識しています。

一方、サイバー攻撃のレベルが高まるなか、ガイドラインの高度化も図ります。22年度初頭にはより高度な内容を盛り込んだ改訂版を追加するとともに、年度後半には工場を対象領域とした指標もまとめる予定です。

さらに自工会として将来的に注力していきたいのが自動車業界に携わる550万人のためのサイバーセキュリティ対策です。サイバー攻撃を受けた企業が機能不全を起こした際、自動車ユーザーや社会に大きな影響が出る業種は完成車メーカーや部品メーカーに限りません。具体的な方法は今後の検討課題ですが、自動車業界全体でサイバーセキュリティのレベルを引き上げるための道を模索していく考えです。

ガイドラインを高度化。550万人への対策も

たが、調査で改めて浮き彫りになったことの1つが、会社の規模や業種によるばらつきの大きさです。例えば従業員数別の平均点で見ると、「1万人以上の企業」(73社)は平均96.5点とほぼ全ての項目に準拠しているものの、従業員数が少なくなればなるほど平均点は減少し、「100人以下の企業」(775社)の場合は56.8点と約半分にまで減ります。業種別で見ると、「完成車メーカー」(11社)が97.0点、「ソフトウェア開発」

(38社)が93.1点と高得点だった一方、「設備」(97社)が73.9点、「加工」(876社)が60.2点と低い傾向が確認できました。

「未実施」だった項目別では強い傾向がみられなかったものの、「情報資産において『機密性』『完全性』『可用性』の3要素が確保できなくなった場合のリスクを特定できている」「業務影響への対策は策定された計画に沿って管理している」といった項目は比較的实施できていない企業が多かったようです。



CEV補助金を利用して 環境にやさしい 自動車に乗ろう！

購入補助金
UP!



CEVとは？

Clean Energy Vehicle (クリーンエネルギー自動車)



電気自動車



電気自動車(軽)



プラグインハイブリッド自動車



燃料電池自動車



超小型モビリティ

©2022.3一般社団法人日本自動車工業会

国の補助金がアップ！

補助金の上限額は購入する車種によって異なります



電気自動車の場合

最大
40万円

最大
65万円

最大
85万円

令和3年度当初予算

令和3年度補正予算

さらに
追加条件*適用で



プラグインハイブリッド自動車の場合

最大
20万円

最大
45万円

最大
55万円

令和3年度当初予算

令和3年度補正予算

さらに
追加条件*適用で



電気自動車(軽自動車)の場合

最大
20万円

最大
45万円

最大
55万円

令和3年度当初予算

令和3年度補正予算

さらに
追加条件*適用で



燃料電池自動車の場合

最大
225万円

最大
230万円

最大
255万円

令和3年度当初予算

令和3年度補正予算

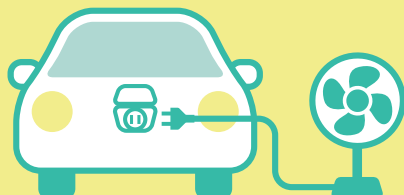
さらに
追加条件*適用で

©2022.3一般社団法人日本自動車工業会

*追加条件とは？

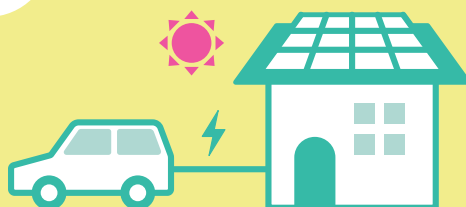
A

車載コンセント(1500W/AC100V)から電力を取り出せる給電機能がある車両

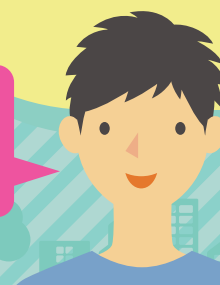


B

外部給電器やV2H充放電設備を経由して電力を取り出せる車両



A、Bいずれかを満たせば
補助金UP ↑↑



©2022.3一般社団法人日本自動車工業会



開始日

申請受付開始日

令和4年
3月31日～

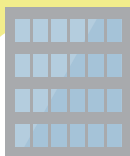
対象となる車両の
新規登録(新規検査届出)日

令和3年
11月26日～

補助の対象は…



個人



法人・地方公共団体等



申請方法

- 1 補助金交付申請の募集
- 2 補助対象車両の購入・リースと登録・届出
- 3 補助金交付申請書類の提出
- 4 補助金交付申請書類の審査
- 5 補助金交付決定
- 6 補助金交付(振込み)
- 7 車両(財産)の一定期間の保有



©2022.3一般社団法人日本自動車工業会

詳しくはお近くの販売店または次世代自動車振興センター ▶ www.cev-pc.or.jp

事業者、ドライバー、整備工場の皆さんの協力をお願いします。

夏 冬 タイヤ交換後の 大型車の車輪脱落事故に注意!

～大型車の車輪脱落事故を防ぐ新しい「お・ち・な・い」～



お

とさない! 脱落防止はまず点検。

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ
唯一かつ最善な手段です。

ち

ちゃんと清掃、ちゃんと給脂!

ナットとワッシャーとの
隙間への注油も忘れずに!

- ボルト、ナットの錆や汚れを落とし、エンジンオイルなどを塗布してください。ナットをボルトの奥まで回転させたとき、ナットやワッシャーがスムーズに回転するか点検します。
- スムーズに回転しない場合、ボルトとナットはセットで交換してください。
- ボルトとナットは新品から4年経過後は入念に点検してください。

錆びたボルト・ナット



給脂



な

(ナット)

ット締め、トルクレンチを必ず使用!

- 適正なトルクレンチを用いて規定のトルクで確実に締め付けます。



規定の
締付トルク

- 初期なじみのため、タイヤ交換後50～100km走行後を目安に増し締めを実施してください。



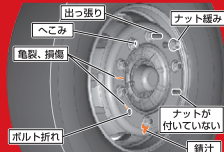
緩める
締める
右ねじの「R」表示

い

ちにち一回、緩みの点検!

ホイールナットの緩み点検/
インジケーターの正しい使用
方法などがご覧いただけます

- 運行前にボルト、ナットを目で見て手で触って点検。



- 特に脱落が多い
左後輪は重点的に点検を。



- ISO方式の場合は、目視で確認できるインジケーター装着による点検がより効果的です。



詳しい情報は
日本自動車工業会ホームページへ
[http://www.jama.or.jp/
truck-bus/wheel_fall_off/](http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/)

国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る連絡会
日本自動車工業会(いすゞ自動車 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDTトラック) 全日本トラック協会
日本バス協会 全国自家用自動車協会 日本自動車整備振興会連合会 日本自動車販売協会連合会
全国タイヤ商工協同組合連合会 日本自動車タイヤ協会 全国石油商業組合連合会 日本自動車車体工業会
日本自動車輸入組合 日本自動車機械工具協会 日本自動車機械器具工業会 自動車用品小売業協会
日本自動車車体整備協同組合連合会



コロナで変わる?

クルマの使われ方⑤

注目
集まる

電動車の 価値



▲ ワークーションなどを提案する日産の「ブルー・スイッチ」

新型コロナウイルスの感染拡大により、アウトドアやリモートワークなど密を避けて活動するツールとしてクルマの価値が見直されています。これに伴い給電機能を搭載した電動車へのニーズも高まっています。さらに近年は記録的な豪雨や大雪といった大規模災害が相次いでいることも、いざという時に威力を発揮する電動車に対する関心を一層高めています。自動車メーカー各社も自治体と災害の協力協定を結ぶなど、電動車ならではの特徴を生かした地域貢献活動を積極化させています。



▲ アウトドアイベントでも来場者からの給電機能への関心は高い(写真は2021年11月開催の「フィールドスタイルジャンボリー」)

新型コロナウイルスの感染拡大以降、さまざまな社会活動において行動制限を余儀なくされています。一方、レジャーでは、密を避けて楽しめるという理由からアウトドアへの注目が一気に高まり、近年、老若男女問わず人気を集めていたキャンプを楽しむ人がコロナ禍以降増加しています。

アウトドアでの過ごし方も多様化しています。従来からの本格的なキャンブリースのほか、屋外でも気軽に快適に楽しもうと考えるユーザーも多く、モバイルバッテリーやポータブル発電機などを用いて、給湯器や電

キャンプでも
家電という新発想

気式グリル、保温ボックス、電気毛布、電動シャワーといった家電を活用する事例が増えています。さらに、大自然の中で音楽や映画鑑賞、動画や通信ゲームを楽しむなど、コロナ禍のキャンプでは屋内外での過ごし方の垣根がなくなりつつあるのが特徴といえます。

このような新たなトレンドに対して、電動車が活躍する場面が増えそうです。電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド車(PHV)、ハイブリッド車(HV)、燃料電池車(FCV)に搭載している外部給電機能を活用すれば、これまで以上にアウトドアの楽しみ方を広げることが可能となります。

実際に自動車メーカーやカー用品メーカーなどは電動車を活用した提案を積極化させています。2022年1月に2年ぶりのリアル開催となった「東京オートサロン2022」でも、アウトドアにおける電動車の利用事例が注目を集めていました。



▲日産は2020年7月の九州豪雨で「リーフ」を派遣した



▲自動車メーカー各社は給電機能により災害時や屋外でも家電が使えることをアピール



▲HVへの外部給電機能の搭載も進んでいる
(写真はトヨタ「アクア」の外部給電口)

リモートワークとの親和性

コロナ禍で急速に広まった新しい働き方であるリモートワークでも、電動車が活躍します。リモートワークにはノートパソコンなどのモバイル端末が欠かせないため、場所を選ばず仕事可能な「移動オフィス」として

コナ禍で急速に広まった新しい働き方であるリモートワークでも、電動車が活躍します。リモートワークにはノートパソコンなどのモバイル端末が欠かせないため、場所を選ばず仕事可能な「移動オフィス」として

給電機能を備えた電動車の価値が生まれてきます。

これを受けて自動車業界では電動車を活用して移動オフィスの需要を取り込む動きが進んでいます。日産自動車は、神奈川県小田原市と連携し、場所を選ばない柔軟な働き方が可能な「ワーケーション」にEVを活用する取り組みを進めています。キャンプ場のオートサイトでEVや可搬型給電器を貸し出し、自然環境の中でリモートワークが可能な環境を提供する試みです。

EVによるカーシェアリングサービス「eemoo(イーモ)」を手がけるREXEV(レクシヴ)

は、カーシェア利用者向けに「テレワークセット」を配備しています。パソコンの充電が可能なインバーターと、ステアリングにかけて利用するパソコン用のテーブルで構成しており、停車中に騒音などを発生しないEVの利点を訴求しています。

また、自動車メーカー各社が発売する新型車では「コネクテッドサービス」の導入に合わせて車内Wi-Fiを整えているモデルの普及が進んでいます。アフター市場でも定額制の高速データ通信サービスを組み合わせ、たカーナビや、耐候性を高めた車載用Wi-Fiルーターの投入が相次ぐなど、車内でモバイル端末を活用するユーザーが増えており、給電機能を有する電動車の普及を一層後押ししています。

震災で、移動可能なエネルギーインフラとして災害時の非常電源に電動車を活用する取り組みに注目が集まりました。その後、大雨による洪水や停電、寒

非常電源という役割も

電動車の特徴である給電機能を災害時に活用しようという動きも進んでいます。きっかけとなったのが大きな被害をもたらした2011年の東日本大

震災で、移動可能なエネルギーインフラとして災害時の非常電源に電動車を活用する取り組みに注目が集まりました。その後、大雨による洪水や停電、寒



▲ 2019年の台風15号による千葉県の停電で活躍したトヨタ「プリウスPHV」

「東京オートサロン2022」では電動車活用の提案が目立った(写真は三菱自動車「ミニキャブMiEV」と電力供給装置)▶



▲ イベントなどで給電機能を実演する販売会社が増えている



波による大雪など、これまでの想定を上回る規模の自然災害が多発。特に2019年の台風15号や19号による大規模災害では、電動車の価値がクロスアップされ、これを機に電動車を導入する自治体が増えています。

自動車メーカーが自治体との協力体制を進めていることも電動車の普及を後押ししています。日産が自治体や企業と協力して地域の抱える課題解決にEVを活用するプログラム「ブルー・スイッチ」では、2021年末の取り組み件数が150件を突破。自然災害の多発を受けて、直近1年間で取り組み件数が1.5倍へ急増しました。三菱自動車も被災地に電動車を貸し



▲ 自動車メーカーは防災グッズにも力を入れているマツダの「車中泊セット」(上)、ホンダアクセスの「防災安心セット(女性用)」(下)

出す自治体との「災害時協力協定」が100件を超えています。

トヨタ自動車も国土交通省や地元トヨタ系販売会社とPHVなど電動車を活用して災害時に避難所などに電力を給電する実証訓練を実施しています。自治体から販売会社各社に電動車の配車を要請し、派遣した電動車から取り出した電力を災害用投光器に供給するなどの取り組みを行っています。

ただ、電動車からの給電には注意も必要です。住宅のコンセントから得られる商用電源とは特性が完全に一致しないため、家電製品が本来の性能を発揮できないケースもみられます。このようなリスクを理解し、給電機能を安全かつ適正に使用する必要があります。このため自工会では、交流100V・1500Wコンセントを搭載する電動車から電気製品への給電に関して注意を呼び掛けています。給電機能の正しい利用方法を促しながら、豊かなカーライフを実現するとともに、有事の際にも活躍する電動車の普及を加速させていく考えです。

記者の窓



運転がうまいね

レスなく演劇のセリフを練習できます。

●せっかく記者の窓という自由なコラムを書く機会を頂戴したのだから、普段とは異なる趣向を凝らしてみよう。自動車関連ということで、米アカデミー賞にノミネートされている映画「ドライブ・マイ・カー」の作品評でも書いてみようか。

●そんな思いでこの文章を書き始めて2分後、自分が映画や小説を「面白い」とか「すごい」といった貧弱な語彙でしか表現できない無粋な人間であることに気が付きました。一向にベンが進みません。背伸びして気取った文章を書いても口くなくならないのでやめておきます。映画館に加えて複数の動画配信サービスでも視聴できますので、まだご覧になっていない方はぜひご鑑賞ください。最終盤の手話のシーンは庄巻。この原稿が掲載になるころにはアカデミー賞の結果も出ています。

●映画では主人公の愛車「サーブ900」を優秀な女性ドライバーが運転します。静かでなめらかな運転のおかげで、主人公は乗車中にスト

やるからには、下手よりはうまくできた方がいいですよ。(中略)努力すればうまく来ます」と答えています。上達してもっと運転を楽しみたい。

●原作の短編小説には先に書いた女性運転手についてこうあります。「彼女はいつも運転に神経を集中していた。あるいは運転によってもたらされる特殊な禅の境地に浸っていた(村上春樹「女のいない男たち」所収「ドライブ・マイ・カー」)

●運転の上達には宗教的ともいえるほどの崇高な精神世界に達する必要があるのでしょうか。気が遠くなりません。なお、不得手な私がこれまで無事故無違反を貫いているのは、ひとえに日本車の安全性能の高さによるものです。いつも「ビー!」と中央線からのずれを絶えず間なく教えてくれてありがとう。下手なら下手なりにルールを守り、これからは安全第一でハンドルを握って参ります。それが一番ですよ。

●でもやっぱり褒められたい。

4月
から

JAMAGAZINEの 発行形態が変わります

いつも「JAMAGAZINE」をご愛読いただき誠にありがとうございます。

このたびは読者アンケートにご協力いただきまして、心より御礼申し上げます。
皆さまの貴重なご意見を受けて、JAMAGAZINEは4月から新時代にマッチした
ハイブリッドな発行形態に進化いたします。

1

日本自動車工業会オフィシャルブログ「JAMA BLOG」で週1回のペースで記事を掲載します。これにより旬な話題をタイムリーに発信できる体制を整えます。

2

JAMA BLOGでは写真や動画などを積極的に取り入れたマルチメディア化を図り、従来以上にリッチなコンテンツ提供を目指します。

3

SNSとの連携強化により、550万人の自動車業界の仲間をはじめ、多くの皆さまが最新情報をシェアしやすくなります。

4

冊子は、JAMA BLOGの掲載記事をより深く、詳しく丁寧に解説、アーカイブ性も重視し、ページを大幅に増やして年4回発行いたします。

ハイブリッド化で、よりパワーアップする JAMAGAZINE にどうぞご期待ください。



jama blog
Japan Automobile Manufacturers Association Official Blog

<https://blog.jama.or.jp/>

